

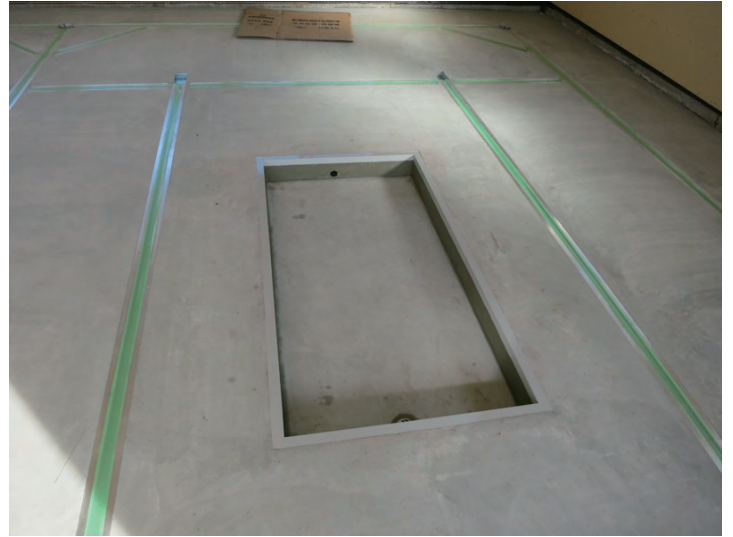
フロアレール施行における注意点

アルミ合金製のレールを埋設し、10t油圧で車両のフレームを矯正（引き出す）する際に装置および車両が動かないように固定する為のレールとなります。施工時にはレベル調整を行いますので設置後のレール付近での作業はご注意ください。また、コンクリ打設時にはレールの表面に養生を行います。コンクリが表面に付着したままですとレールが変色したり、アルミですので固まったコンクリを削り取る事ができません。レールは強力な力を受け止めますのでレール下部へのコンクリの流し込みは確実に慎重に行ってください。

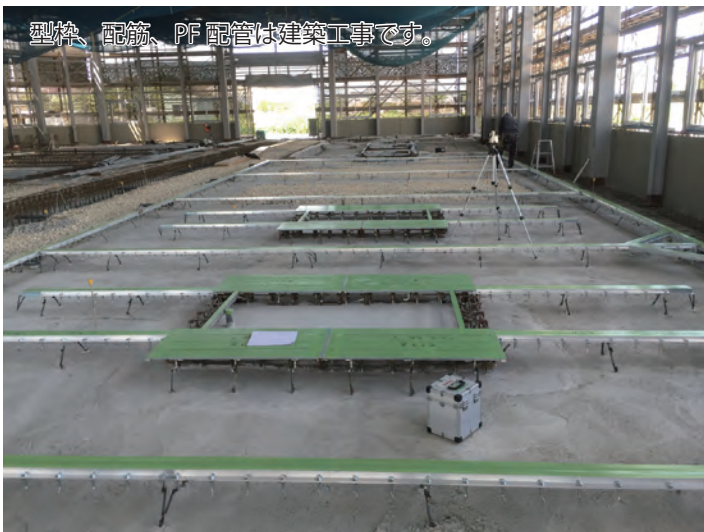
【完成参考画像】



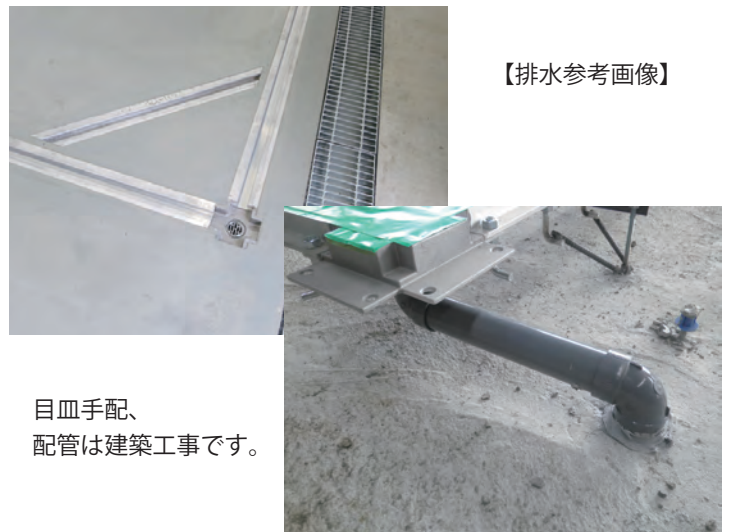
【完成ピット参考画像（固定プレート無）】



【施行参考画像】



【排水参考画像】



【注意点】



コンクリ打設時に養生を剥がしてしまい、コンクリがレール表面に付着したまま放置したが為、レールが変色しコンクリも表面で硬化した。コンクリの汁がアルミに長時間付着すると本画像のように変色します。



左官仕上げの際にレールごとならしてしまい、レールがコンクリに埋まってしまっている。打設はレールと同じまたは-2mm程度に抑えて下さい。



レール下部にコンクリがまわっておらず空洞になっています。この場合は補修ではなく、やり直しになりますのでご注意ください。また、ピット内の目皿もピット天場に合わせて設置下さい。